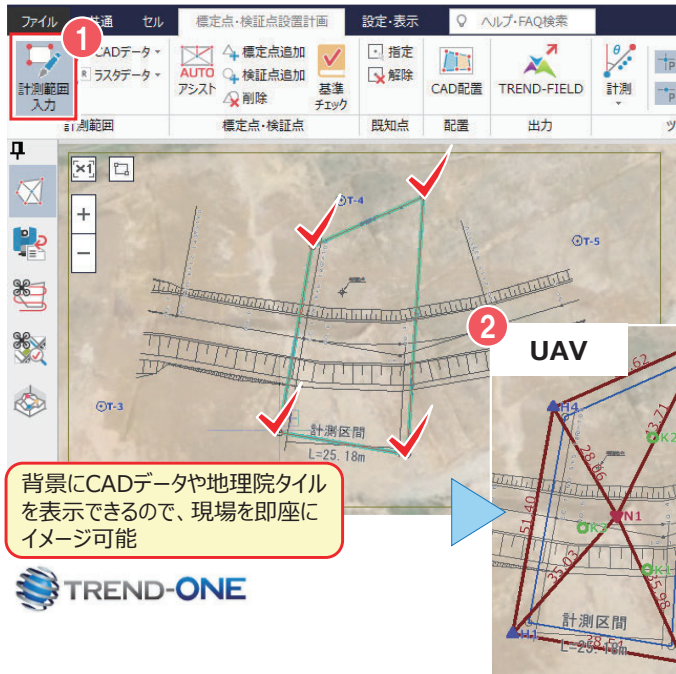




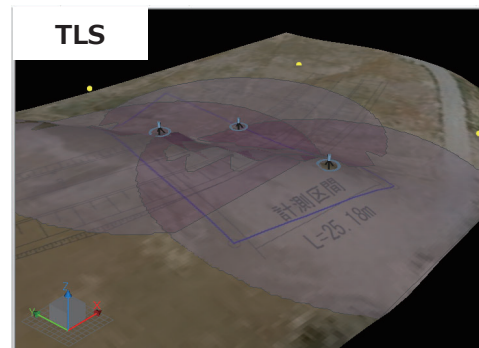
3次元計測支援

TREND-ONE Ver.2の新オプション【UAV/TLS計画成果】を利用すれば、誰でもスムーズにUAV/TLSを用いた公共測量マニュアルに則した計測作業が行なえます。
TREND-ONEで計画した標定点・検証点を、TREND-FIELDで設置、設置後のデータをもとに各種成果作成まで、一連で作業が行えます。

1-1. 標定点・検証点設置計画



- ① 【3次元計測】で作業方法を選択し、計測範囲を入力します。
- ② UAVでは標定点・検証点を、TLSでは標定点を自動設置します。



1-2. 計画データの出力



- ① 【指定】をクリックし、測量時に利用する既知点を指定します。
- ② 【TREND-FIELD】をクリックし、計画データを出力します。
- ③ 現場端末システム【TREND-FIELD】で計画した標定点・検証点を設置、観測します。



推奨ハード内蔵GPSで、標定点や検証点の設置位置へ簡単移動が可能

観測しながらの写真撮影で測点到写真をリンク付けし、整理の手間なく【点の記】が作成できます。



TREND-FIELD

1-3. 成果作成

GNSS単点観測データから
単点観測点検表の作成も可能

- ① [3次元計測] で観測データを取り込み、座標の計算、登録を行います。
- ② 各プログラムと連携し、成果表や明細表、精度管理表などの成果を作成します。



1-4. 撮影計画と精度管理

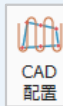
- ① [撮影シミュレーション] ではUAV飛行ルートを自動計算し表示します。
- ② [撮影コース別精度管理] でUAV撮影コース別精度管理表を作成します。
- ③ [形状復元精度管理] では三次元形状復元精度管理表の出力が可能です。



Memo

■ 各種図面について

標定点・検証点配置図や撮影計画図は、各ステージの [CAD配置] から作成できます。

撮影計画図